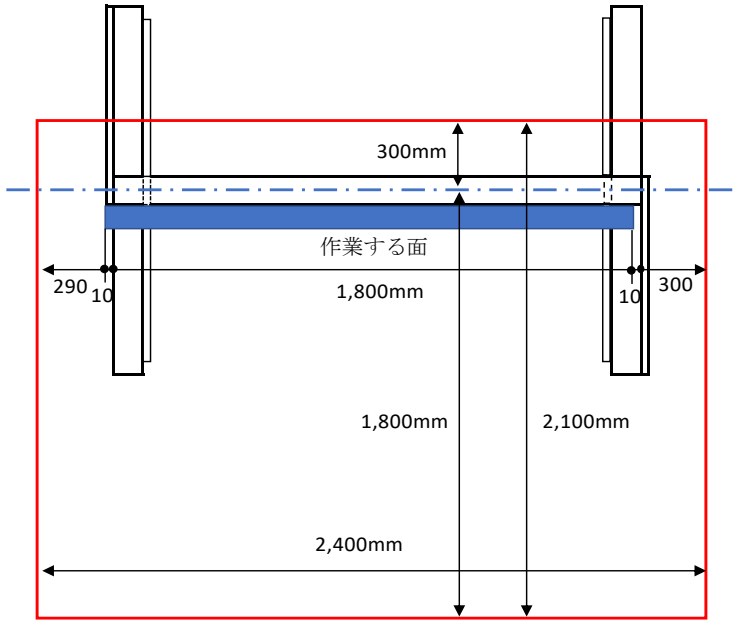


山口県立下関工科高等学校

Q 1 「作業エリアの寸法」を公開して下さい。



競技会場の関係で作業エリアが狭くなっています。作業板の裏のスペースは、A11にもありますように作業シートの展開は競技時間に含めていますので、作業板の裏に回りたい学校もあるかなと思っております。

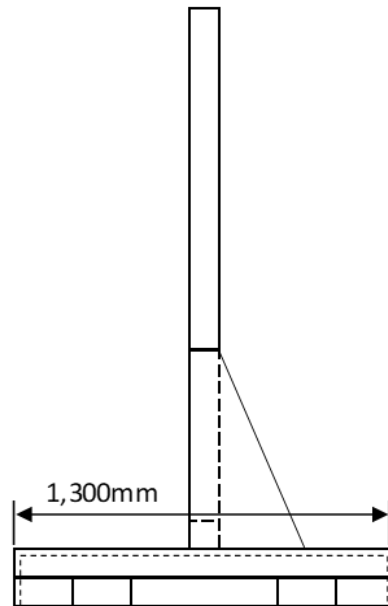
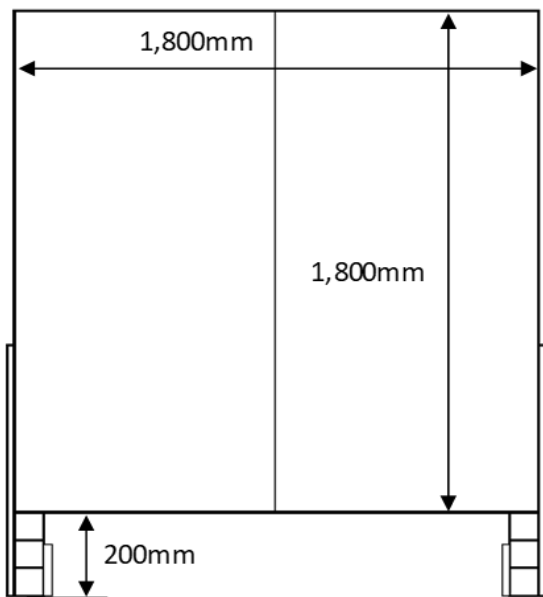
A 1 作業エリア（概ね横幅2,400mm×奥行き1,800mm相当 作業板裏300mm相当）

Q 2 「競技パネル」について、2点質問がございます。

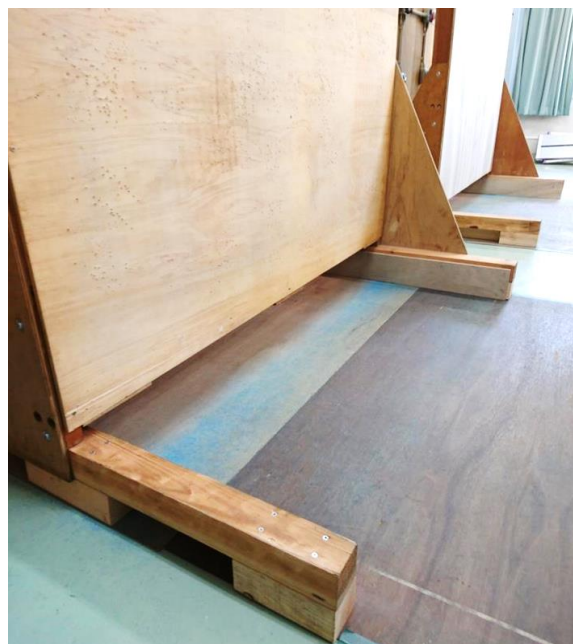
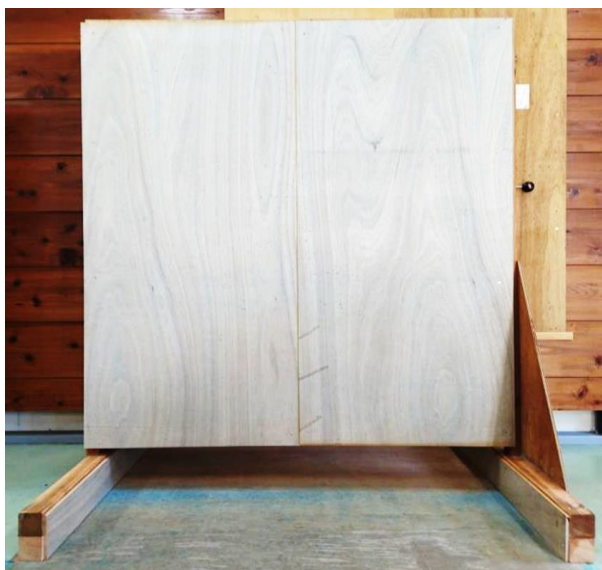
(1) 下げ振りや墨出しなど、板の側面や下面を使用する作業は可能でしょうか。

鉄骨による競技パネル固定の有無や形状、寸法を公開していただけると助かります。

(2) 競技パネルは、左右縦貼か上下横貼のどちらでしょうか。



A 2 パネルは木製であり、鉄骨部品は使用していません。金属ボルトで木材の固定をしています。コンパネ板は左右縦貼です。作業板に向かって右下側面に補強材が取り付けられています。



競技パネル参考画像です。実習室にて撮影をしました、競技場ではありません。
見えにくい場合は、拡大をしてください。

Q 3 課題図に示された基準墨以外の「補助墨」は、消さずに残しておくこと、と示してありますが、この補助墨は減点対象とならないという解釈でよろしいでしょうか。

A 3 その通りです。

Q 4 下げ振りやコンベックステープを固定するピン、およびチョークラインや「鉛筆の印」、
「カルコの刺し傷」は減点の対象になりますでしょうか。

A 4 対象外です。

Q 5 「作業机」について2点質問があります。

(1) 昨年度の、広島開催の中国地区大会では、作業机上への円弧や印など一切の書き入れは禁止となっていました。本年も同一内容の禁止事項との解釈でよろしいでしょうか。

(2) 作業机上への採寸するためのメジャーテープの貼り付けは可能でしょうか。

添付された画像



A 5 作業机を含め、円弧や印など書き入れ禁止、メジャーテープの貼り付けも禁止とします。

Q 6 金属管に入線のための、「入線潤滑剤またはシリコンスプレー」の使用は可能でしょうか。使用不可の場合は、入線のためのキャップ等の持ち込みは可能でしょうか。

A 6 潤滑剤またはシリコンスプレーの使用は禁止とします。
ただし、入線のためのキャップや呼線挿入器、バインド線の使用は許可します。

Q 7 採点基準(例)の「1.1 器具への結線」および「1.2 電線相互接続」の項目中に「心線被覆の長さが範囲である(100~150mm)」とあります。この場合、被覆部分の長さとして、埋め込み器具や差込型コネクタに接続するための心線の長さは含まれない。という解釈でよろしいでしょうか。

A 7 その通りです。

Q 8 作品の「導通チェックのための補助器具(コンセント)」は持ち込み可能でしょうか。

A 8 導通チェックのための補助器具(レセプタクルや引掛けシーリングにはめ込むコンセント)の持ち込みは認めますが、工具点検において「危険である」と判断した場合は使用を認めないこともあります。
補足として、競技会場では作業用の商用電源は使用できません。

Q 9 「清掃時のゴミの内容」につきましては、I Vの内装やFケーブルの外装、チョークの粉残りでございますでしょうか。競技パネルの穴開け等で生じた削り粉のようなサイズのものも含まれるのでしょうか？

A 9 採点基準（例）2 競技姿勢（清掃状況）で示した通りです。

Q10 「前日の材料確認の際」、ケーブル等の採寸の為の展張および巻き直し」は可能でしょうか。また、各材料の保護キャップ、配線用遮断器を箱から出す等の材料・工具展開（下げ振りの長さ調整含む）はどこまで可能でしょうか。

A10 ・ケーブル等の展張により配布した長さの点検と巻き直しは許可しますが、分割する長さのマークは禁止します。
・保護キャップを外すことは禁止します。
・配線用遮断器は箱から出して準備しています。取り付けねじは袋に入った状態で渡します。
・端子ねじを緩めての点検は許可しますが、締め直してください。
・下げ振りの長さ調整は、前日の会場下見時に実施してください。

Q11 床に敷く「作業シートの展開」は、前日準備の際に展開は可能でしょうか。

A11 作業シートの展開は、競技時間に含めます。

Q12 「治具」についての質問です。

課題の「6. 持ち込み工具類」について-(6)-アおよびウ」にスケール（メジャー）の使用制限が記してございます。「ア」には「印や穴の数は1つのスケールに4個まで」とあり、「ウ」には「予めマークしたスケールは使用できない」とございます。テブラ等で、4個までの印づけや穴あけは可能という解釈でよろしいでしょうか。

平成30年度高校生ものづくりコンテスト 電気工事部門競技課題抜粋

- (6) 治具は作業板上に課題の寸法や器具、タッピングビスおよびステップル等の取付ける位置を割り出すために準備したものである。治具は以下のようにする。
- ア 市販のスケールに印や穴をあけたもの。ただし、印や穴の数は1つのスケールに4個までとし、穴や印のないものはいくつ持ち込んでもよい。
- ウ 競技課題寸法位置に競技開始前に予めマークしたスケール（メジャー）や作業板等の加工品は使用できない。ただし、競技開始後はこの限りではない。

A12 上記は治具の定義や治具例を挙げ、持ち込み工具は工具点検時に使用の可否の判断をすると明記しています。アとウについては下記のような解釈をしています。

治具として、競技前に加工して持ち込むことができるスケールは 1個のみで、このスケールに加工できる印もしくは 穴の数は4カ所までです。なお「穴や印のないスケールはいくつ持ち込んでもよい。」となっており、競技を開始した後に、穴や印のないスケールを加工し使用することは可能です。